

小 / 算数 / 4年 / 数と計算 /  
わり算 / 理解シート

70 ÷ 20 の答えを、3あまり1としたとき、あまりの1は正しいの

1 70 ÷ 20 の筆算をしてみます。

① (0を消す)

$$\begin{array}{r} 3 \\ 2\cancel{0})\cancel{7}\cancel{0} \\ \underline{6} \\ 1 \end{array}$$

② (0を消さない)

$$\begin{array}{r} 3 \\ 20)70 \\ \underline{60} \\ 10 \end{array}$$

◀注意▶ 答え…3あまり1 (まちがい) 答えは…3あまり10 (正しい)  
けん算… $20 \times 3 + 1 = 61$  けん算… $20 \times 3 + 10 = 70$

- けん算をしてみると、答えは、3あまり10が正しくなります。  
3あまり1はまちがっています。

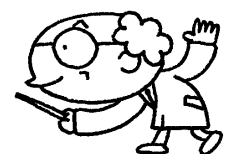
◻大切! ◻ ①は、10をもとにしたから、0を1つずつ消して計算していきます。  
あまりの1は、10が1つあることを表しているから、あまりは10です。  
つまり、あまりの1に消した0の数、0を1つつけます。

2 2900 ÷ 600 の筆算をしてみます。

$$\begin{array}{r} 4 \\ 6\cancel{0}\cancel{0})\cancel{2}\cancel{9}\cancel{0}\cancel{0} \\ \underline{24} \quad \downarrow \downarrow \\ 500 \end{array} \quad \begin{array}{l} \text{答え}\cdots 4\text{あまり}500 \\ \text{けん算}\cdots 600 \times 4 + 500 = 2900 \end{array}$$

100をもとにしたのだから、5は  
100が5つあることを表しています。

けん算をしてみ  
ると、よくわか  
るね。



▶ポイント▶ あまりは消した0の数だけ0をつける。